

議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者：電気学会
日時	平成 26 年 4 月 25 日(金)15:00～17:00	場所：(社)電気学会 第 4 会議室
出席者	吉川(横国大)、木村(古河)、藤巻(名大)、一瀬(電中研)、岩城(日立)、窪谷(東芝)、伴野(NIMS) 【敬称略】	

【配布資料】

- 1) 260425-1 前回 (H26/1/20) 議事録 (案)
- 2) 電気学会 金属・セラミックス技術委員会 名簿
- 3) 260425-2 平成 26 年度 金属・セラミックス技術委員会分掌
- 4) 260425-3 金属・セラミックス技術委員会 HP
- 5) 260425-4 平成 26 年度 金属・セラミックス技術委員会活動計画

【議事】

1. 前回議事録の確認

- ・ 資料 260425-1 に基づき前回議事録の確認を行い承認された。
- ・ 部門誌特集号企画に関し、以下のことが再確認された。
 - a) 2015 年 4～6 月以降に金属セラミックス特集号を出せるようにする。
 - b) 部門誌特集号のインバイトによる募集については引き続き検討する。
- ・ マグネティクス委員会等の他の技術委員会との共催での研究会開催も引き続き検討する。

2. 名簿の確認

- ・ 委員増員について、以下の意見が出された。
 - a) 委員会の基盤強化のため委員の増員が望ましい。
 - b) 案として、1. 超伝導関係 (材料、特にエレクトロニクス) で 1 名、2. それ以外で 1 名、3. A 部門に入っている人で 1 名の増員を目指すことが確認された。材料関係では伴野委員が勧誘。エレクトロニクスでは吉川委員長から産総研の日高氏に声をかける。A 部門に入っている方の勧誘については吉川委員長が担当。
 - c) その他、ISTEC (田辺氏) 理研、大学 (入江先生(宇都宮大)、水柿先生(電通大)、明連先生(埼玉大)) の名前が候補として挙げられた。

3. 平成 26 年度 金属・セラミックス技術委員会分掌

- ・ 吉川委員長より、平成 26 年度の金属・セラミックス技術委員会分掌について、前回変更が承認された資料 260425-2 の内容の確認があった。
- ・ 窪谷委員より、3 月に行われた編集委員会について、委員の改選が主な内容であったことなどが簡単に報告された。
- ・ 全国大会シンポジウムの企画をどうするかそろそろ決める時期であることが確認された。

4. 金属・セラミックス技術委員会 HP

- ・ 吉川委員長より、近々更新する旨、報告があった。

5. 平成 26 年度 金属・セラミックス技術委員会活動計画

- 吉川委員長より、資料 260425-4 に基づき、説明があった。
- 研究会について
 - a) 11/25-27 の ISS2014 に合わせ、11/24(月)に開催する方向で検討することが確認された。下山委員に確認し、場所の確保を依頼する。
 - b) SSV との連携についても議論があったが、原稿フォーマットが電気学会のものになるなどのデメリットもあるとの意見が出された。
- 特集号について
 - a) 繰り返しになるが、インバイトとして論文募集ができないか、電気学会にその枠があるのかなどの意見が出された。
 - b) その他の案として、トレーニングの意味も含めて学生に投稿してもらうのはどうか、解説として募集すれば集めやすいのではとの意見が出された。
 - c) テーマに関して、調査専門委員会のテーマの中から次回委員会までに選ぶことが確認された。
- 全国大会、シンポジウムのテーマについて
 - a) 次回開催は東京都市大学 (2015 年 3 月 24 日(火)午前～26 日(木)午後)。
 - b) H26 年度のテーマ案として、センサー材料、フィルタなどの意見が出された。
 - c) 参考までに、これまでのテーマは、カーボンナノチューブ(H16)、ダイヤモンド(H17)、電池(H18)、HTS(H20)、太陽電池(H21)、エネルギー貯蔵(H22)、超伝導(H23)、熱電材料(H24)であった。
 - d) 8 月に事務局に提出するため、題目を含めて 7 月の段階である程度決定させる必要がある。
- 技術レビューについて
 - a) 毎年 1 月号に出す (前は吉川委員長)。
 - b) 次回テーマ案として検出器を検討する。糸崎先生 (阪大)、大久保氏 (産総研) あたりをお願いする。
 - c) 時期になると編集委員会から技術委員会に依頼される。
- EINA マガジン (英文) について
 - a) 委員会の活動報告として吉川委員長が執筆する。

6. その他

- 藤巻委員より調査専門委員会の実施状況の報告があった。
 - a) 昨年 1 回開催
 - b) 今年は 6 月頃開催。テーマは量子信号処理。
 - c) 議事録を吉川委員長が執筆する。技術委員会に提出する。
- 新調査専門委員会の立ち上げについて意見が交わされた。熱電材料など新しいテーマを探索していく。違うコミュニティーをどう引き込むかについて検討していく。